

Aria Empatica

第二回公演
「常緑の下で春の匂いを待つ」

2023 12/17 日

開場 13:30 開演 14:00

※16:30 終演見込み

松本記念音楽迎賓館

入場料 1,000 円（全席自由）

A. コレッリ：合奏協奏曲 ト短調 作品 6-8 「クリスマス協奏曲」

A. I. マルチェッロ：オーボエ協奏曲 ニ短調

A. ヴィヴァルディ：室内協奏曲 ハ長調 RV87

A. ヴィヴァルディ：ヴァイオリン協奏曲 ヘ短調 RV297 「冬」

（ヴァイオリン協奏曲集「和声と創意の試み」より）

G. F. ヘンデル：アリア「ラッパは鳴り響き」

（オラトリオ「メサイア」HWV. 56 より）

他

Aria Empatica

第二回公演

「常緑の下で春の匂いを待つ」

2023

12/17



開場 13:30

開演 14:00

松本記念音楽迎賓館

「二子玉川駅」または「成城学園前駅」よりバス
東急バス玉 31 系「岡本三丁目」から徒歩 5 分

入場料 1,000 円（全席自由）

G. トレリ：トランペット協奏曲 二長調 「エステエンヌ・ロジェ 188」

A. コレリ：教会ソナタ へ長調 作品 1-1

J. J. クヴァンツ：トリオ・ソナタ ハ短調 QV2:Anh. 5

A. コレリ：合奏協奏曲 ト短調 作品 6-8 「クリスマス協奏曲」

G. F. ヘンデル：合奏協奏曲 ト長調 作品 3-3

A. I. マルチェッロ：オーボエ協奏曲 二短調

A. ヴィヴァルディ：室内協奏曲 ハ長調 RV87

A. ヴィヴァルディ：ヴァイオリン協奏曲集「和声と創意の試み」よりヘ短調 RV297 「冬」

G. F. ヘンデル：オラトリオ「メサイア」HWV. 56 より第 47 曲「聞かごよい、私は奥義を告げる」・第 48 曲「ラッパは鳴り響き」

わたしたちについて

通常のオーケストラでは取り上げられることの少ないバロック時代の作品に取り組みたい！ という意欲のもと、首都圏の社会人オーケストラで活動するメンバーにより結成されました。

団体名に含まれる Aria という言葉は音楽用語としては旋律的に歌われる独唱曲のことを指すと同時に「空気」や「態度」を指す言葉でもあり、Empatica は「共感を呼ぶ」といった意味を持ちます。作品と演奏する私たち、そしてお聴きいただく皆さまとの間に「共感」が生まれるような空間として演奏会を作っていきたいという思いを込めて命名しました。

メンバー

折原 拓磨（ヴァイオリン）

帷子絵里（ヴァイオリン）

川尻 翔（ヴァイオリン）

北川 莉彩（ヴァイオリン）

七種 理紗子（ヴァイオリン）

松島 孝（ヴァイオリン、バス）

茗荷 将史（ヴィオラ）

善場 広子（チェロ）

松屋 雄一郎（チェロ）

杉本 健太郎（チェンバロ）

小山 洸士郎（フルート、リコーダー）

五島 穰（オーボエ）

根来 哲也（トランペット）

この演奏会について

今回の演奏会はわたしたち Aria Empatica としては 2 回目の演奏会となります。12 月に演奏会を開催するということで、この季節が感じられるような作品を軸としてプログラムを編みました。

寒く暗い冬に感じる厳しさ、翻ってクリスマスの祝祭感、春への憧れ……現代の日本を生きる私たちとも共通する感情を出発点に、ともにバロック時代の音楽の世界へと赴きましょう。

お問い合わせ

◆チケットご予約

こちらのコードよりお求めください▶

※未就学児童のご来場はお断りしております。



◆連絡先

〔X (Twitter)〕 @aria_empatica

〔MAIL〕 aria.empatica@gmail.com